

原田直次郎展

Naoyuki Hamada Retrospective

近代洋画・もうひとつの正統

2016.4.8.Fri
→ 5.15.Sun

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

原田直次郎《風景》【部分】1886(明治19)年 岡山県立美術館所蔵

若し明治の油画が一の歴史をなすに足るものであるならば、
原田の如きは、必ずや特筆して伝うべきタイプであるだろう。

— 森鷗外

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／月曜日

観覧料／一般1,200円(1,100円)／20歳未満・学生1,050円(950円)／65歳以上600円／高校生100円／()内は20名以上の団体料金

・中学生以下の方、障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。

・あわせて「コレクション展1：明治の美術」(第1展示室)もご覧いただけます。

・ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は5月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

・会期中、一部展示替を行います。前期 4月8日～5月1日／後期 5月3日～15日

主催／神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛／ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

後援／東京ドイツ文化センター

協力／日本航空、日本通運

助成／公益財団法人吉野石膏美術振興財団

神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel.046-875-2800 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp> 公式ツイッター@KanagawaMoMA



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館

原田直次郎《風景》【部分】1897(明治30)年 東京藝術大学所蔵



1

幕末の江戸に生まれた原田直次郎(1863-1899)は、西洋画を志して高橋由一に師事したのち、ミュンヘンの美術アカデミーに留学します。この地で文豪・森鷗外と終生の友情を結び、「舞姫」「文づかい」と並ぶ鷗外のドイツ三部作の一つ「うたかたの記」では主人公の画学生・巨勢のモデルとなりました。

3年の滞欧から帰国した1887(明治20)年、伝統回帰の反動から洋画排斥運動のさなかにあった日本の美術界で、原田は西洋画の正則な理念と技術を広めるべく奮闘します。洋画団体「明治美術会」の創立に参加、作品発表と並んで論述活動も行いました。1889年には画塾「鍾美館」を開き、和田英作や三宅克己、大下藤次郎らを輩出しています。1890年の第3回内国勲業博覧会に出品し、画題論争を巻き起こした大作《騎龍観音》などに西洋美術の正統を伝えながら36歳で病に斃れた原田の活動は、日本における西洋画の受容を考える上で短くも重要な軌跡を描きました。

重要文化財2点を含む原田直次郎の油彩約30点と素描・装丁類約30点に、日本初公開となるドイツの師・友人たちの作品、そして高橋由一や松岡寿、伊藤快彦など周辺作家の作品を加え、200点を超える作品と資料で原田直次郎の画業とその展開を概観する、およそ100年ぶりの回顧展です。



2

Naojiro Harada Retrospective



3



10



2



3



4



5

- 1 左より岩佐新、原田直次郎、森鷗外 ミュンヘンにて 1886(明治19)年 画像提供：文京区立森鷗外記念館
- 2 原田直次郎《靴屋の親爺》重要文化財 1886(明治19)年 油彩、カンヴァス 東京藝術大学所蔵
- 3 原田直次郎《ガブリエル・マックス像》 1884-86(明治17-19)年頃 油彩、カンヴァス 個人蔵
- 4 原田直次郎《老人》 1886(明治19)年頃 油彩、カンヴァス 東京藝術大学所蔵
- 5 原田直次郎《神父》 1885(明治18)年 油彩、カンヴァス 信越放送株式会社所蔵
- 6 原田直次郎(画)《開天庵戸之図》『国民新聞』第270号附録 1890(明治23)年11月25日 石版、紙 郡山市立美術館所蔵[前期展示]
- 7 原田直次郎《風景(箱根)》 1892(明治25)年 水彩、紙 個人蔵
- 8 原田直次郎《騎龍観音》重要文化財 1890(明治23)年 油彩、カンヴァス 護国寺所蔵
- 9 原田直次郎《素戔嗚尊八岐大蛇退治画稿》 1895(明治28)年頃 油彩、カンヴァス 岡山県立美術館所蔵
- 10 原田直次郎《安藤信光像》 1898(明治31)年 油彩、カンヴァス 東京国立博物館所蔵



6



7

原田直次郎を巡って紹介する主な美術家たち

- 第1章「誕生 1863-1883」：高橋由一、高橋(柳)源吉、浅井忠、安藤伸太郎、五百城文哉、長原孝太郎、松岡寿
- 第2章「留学 1884-1887」：ガブリエル・フォン・マックス、ユリウス・エクステル、ツェツィーリエ・グラーフ＝プファフ、テオドール・レックナーゲル
- 第3章「奮闘 1887-1899」：合田清、山本芳翠
- 第4章「継承 1888-1910」：伊藤快彦、小林萬吾、三宅克己、大下藤次郎、和田英作、真野紀太郎、櫻井忠剛、有島生馬、木下義謙

関連企画

記念講演会
「直次郎と鷗外—ミュンヘンの青春」
講師：芳賀徹氏(静岡県立美術館館長)
日時：4月9日(土) 午後1時～2時30分
会場：葉山館 講堂 定員70名(当日先着順)

国際シンポジウム
「美術の19世紀—ドイツと日本」
日時：5月8日(日) 午後1時～4時
会場：葉山館 講堂
助成：公益財団法人吉野石膏美術振興財団
※詳細は当館ホームページをご覧ください。

スライドレクチャー
講師：安松みゆき氏(別府大学教授)
日時：5月1日(日) 午後2時～3時
会場：葉山館 講堂 定員70名(当日先着順)

ギャラリートーク
ゲストトーク(ゲスト：河合哲夫氏／聞き手：当館学芸員)
5月14日(土) 午後2時～3時
館長トーク(話し手：水沢勉)
4月24日(日) 午後2時～3時
担当学芸員による展示解説
4月10日(日)、5月3日(火・祝) 各日午後2時～3時

すべて参加無料(ギャラリートークは本展の当日観覧券が必要です)

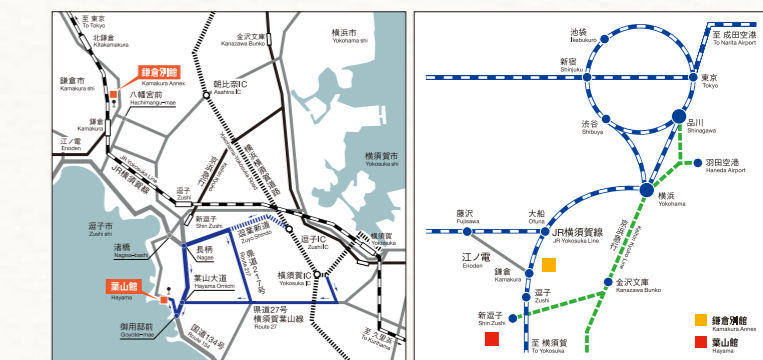
・詳細やその他の企画につきましては、当館ホームページをご覧ください。
お電話・窓口でお問い合わせください。

[同時開催]第1展示室
コレクション展1：明治の美術—ワグマン、五姓田義松そして黒田清輝
神奈川県立歴史博物館所蔵作品とともに

優待のご案内
「原田直次郎展」の有料観覧券(65歳以上券を除く)の半券を提示されると、同展会期中に限り、下記の施設に優待料金でご入りいただけます。
・葉山しおさい公園 Tel.046-876-1140
・山口蓬春記念館 Tel.046-875-6094

交通案内
公共交通機関/JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」に乗車(約18分)、「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」で下車
車/横浜横須賀道路、逗子インターチェンジから逗葉新道経由(7.6km)または横須賀インターチェンジから県道27号横須賀葉山線経由(7.2km)

葉山館駐車場のご案内
営業時間：午前8時30分～午後6時(入庫は午後4時30分まで)
駐車料金(1時間/追加は30分毎に精算)：普通車400円、バス1,200円
・企画展の観覧券をお持ちの方は1時間無料となります。
・レストランやショップで2,000円以上ご利用頂いた方は1時間無料となります。(企画展の観覧券と併用で最大2時間無料)
・貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。Tel.046-875-2800



神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel.046-875-2800
2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111